

コミュニティ・スクールとは、学校内に地域・保護者などの代表者と校長（教職員）からなる「学校運営協議会」を設置している学校のことであり、「地域とともにある学校づくり」をめざしています。

この協議会において、「子どもにどんな力をつけさせたいのか」「地域でどのような子どもを育てたいのか」などの目標やビジョンを共有し、その達成に向けた手立てを検討していきます。

検討された手立てに合わせて、地域や保護者の方々と学校が協力し、具体的な活動を展開していきます。

子どもたちの学びや体験活動が充実するだけでなく、子どもと共に活動する機会が増え、地域の方々にやりがいが生まれたり、教職員の「子どもと向き合う時間」が充実したりするなど、さまざまな効果が期待されています。

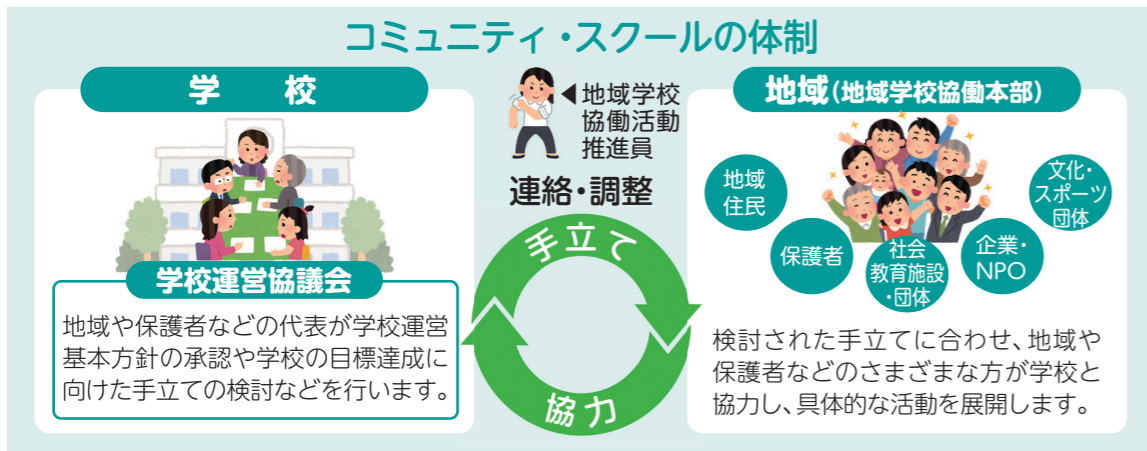
コミュニティ・スクールって何？



地域とともにある学校づくり

～コミュニティ・スクールが始動～

問 (市)小中一貫教育推進室



これまででは、学校が中心となって、めざす子ども像の実現に向けた手立てを考え、地域・保護者から支援を受けながら教育を進めていました。

コミュニティ・スクールでは、学校運営協議会の委員と学校が、課題や子どもを育てていく思いを共有し、学校と一緒に手立てを考え、その解決をめざしたり、活動を充実させたりしていきます。

また、委員が学校運営に参画することで、学校が「何をめざしているのか」「子どもたちをどう育てていくのか」を共有することができ、学校への理解を深め、学校の応援団となっていくことができます。

学校にとっても理解者・協力者が増え、より多くの力で子どもたちを支えられることから、教育の幅を広げ、質を高めることにつながります。

今までとどう違うの？

コミュニティ・スクール導入校卒業生の声

片山 留奈さん(山口県光市)

私は学校の教育活動の中で第三者である地域の方々と関わり、その姿を見て、自分自身の意識や行動が変わりました。主に変化した点は3つあります。

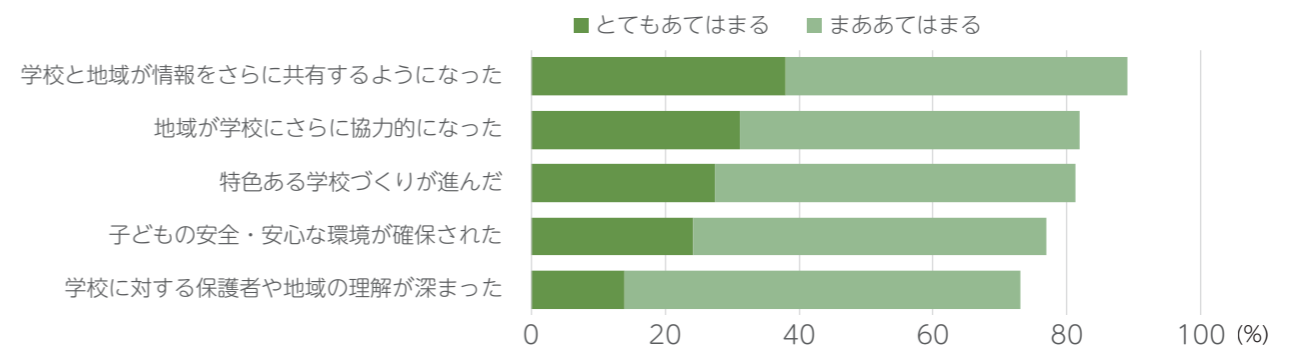
まず、登下校時の安心感です。地域の方々の存在が頼もしく、助けが必要な時に近くにいるという安心感を持っていました。次に、学校活動を通じての視野と考え方の広がりです。高齢者の方のお話を聞いたり、地域の養鶏場での新たな

発見などを通して知識や視野が広がりました。最後に、地域の方々との会話から生まれる自己肯定感です。地域の方々からの成長を喜んでくれる言葉や応援によって自信が深まりました。

これらの変化を通じて、私の地域を大切に思う気持ちはより強くなりました。今後も地域とのつながりを大切にしながら、地元の発展にも貢献していきたいです。

出典：「未来の学校づくり」/学事出版 P64-66から引用

全国のコミュニティ・スクール導入校における成果認識(上位5件を抜粋)



出典：文部科学省「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議(第7回)」(令和3年11月22日)